

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：9月第4週目）

- 1 電力不足：米ゼネラル・エレクトリック（GE）と協力を進める
- 2 米在住ジンバブエ人ディアスポラ、ジンバブエのバイオ技術都市建設計画に関する覚書に署名
- 3 太陽光により、40GWの発電の可能性
- 4 マトボ郡に130MWの太陽光発電所の建設計画
- 5 中国新エネルギー鉱山労働者協会（ACNEM）の開設
- 6 プロスペクト・リチウム社、今年4月以降10万トン以上のリチウム精鉱を輸出
- 7 アフリカ輸出入銀行、スマートシティ建設計画を進める
- 8 ジンバブエのサイバーシティ都市建設計画が、国際的関心を集める
- 9 穀物マーケティング理事会（GMB）、穀物交換プログラムを始動
- 10 ジンバブエ国家統計局（ZimStat）：輸出量が輸入量を上回る
- 11 9月のインフレ率が上昇
- 12 ジンバブエドル（ZWL）の価格下落により一人あたりの生活費が上昇

1 電力不足：米ゼネラル・エレクトリック（GE）と協力を進める

22日、国連総会に出席のため米ニューヨークにいるムナンガグワ大統領は、電力提供において世界大手である多国籍複合企業GEの代表らと面会し、ジンバブエ国内における水力発電を含む電力発電供給事業について意見交換を行った。45億米ドルのジンバブエ及びザンビア国境沿いでの事業は、4千人の雇用を創出し、両国の電力需要のうち3分の1の電力を供給できる予定である。（23日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/power-deficit-zim-engages-general-electric/>

2 米在住ジンバブエ人ディアスポラ、ジンバブエのバイオ技術都市建設計画に関する覚書に署名

米在住ディアスポラのバイオ技術専門家らは、ジンバブエ投資開発庁（ZIDA）と、数十億米ドルのバイオ技術建設計画に関する覚書に署名した。ガンボ製造・生産・インフラにおける投資会社CEOがディアスポラの代表として覚書に署名し、ジンバブエがバイオ技術分野で達成してきたことが、ジンバブエへ専門家や技術を持ち込むことを促進したと述べた。

（24日付、サンデーメール紙）

報道リンク：<https://www.sundaymail.co.zw/multi-billion-dollar-biotech-city-for-zim>

3 太陽光により、40GWの発電の可能性

ジンバブエ・エネルギー規制庁（ZERA）によると、ジンバブエには、109GWもの膨大な太陽光発電（PV）照射の可能性があり、39.5GWを発電できる可能性があると予測されている。（24日付、サンデーメール紙）

報道リンク：<https://www.sundaymail.co.zw/zim-has-potential-to-produce-40gw-from-solar>

4 マトボ郡に130MWの太陽光発電所の建設計画

ジンバブエ・エネルギー規制庁（ZERA）によると、海外投資会社 SunOne 社が、マトボ郡に130MWの発電が可能な太陽光発電所の建設計画を進めている。政府はグリーンエネルギーに力をいれており、2030年までに独立系電力生産企業（IPP）による2,000MWの国家送電網への追加電力を目指している。（26日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/130mw-solar-power-plant-for-matobo/>

5 中国新エネルギー鉱山労働者協会（ACNEM）の開設

国内リチウム鉱山事業会社が、鉱山事業の発展促進を目的として、中国新エネルギー鉱山労働者協会（ACNEM）を開設した。ACNEMの設置は、ACNEMメンバーの権利と利益を守りながらも、国内リチウム鉱山労働者と政府を含む関係者間のコミュニケーションを向上させるうえで重要である。同協会に関与する国内企業は、プロスペクト・リチウム・ジンバブエ社、サビ・スター・マイン社、グワンダ・リチウム社、シノマイン・ビキタ鉱石リシア輝石プロジェクト、カマティヴィ・リチウム・プロジェクト、グローバル・プラチナ・リソース社である。

ソーダ鉱山・鉱山開発大臣は、「中国企業は、新エネルギー技術の最前線に立っており、新エネルギー事業の運営にあたり豊富な経験を持っている。ACNEMは、ジンバブエの新エネルギー分野の発展のため、中国企業とジンバブエ企業が共に取組み、ジンバブエの産業界にとっても歓迎すべきことである。」と述べた。（26日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/lithium-firms-form-association/>

6 プロスペクト・リチウム社、今年4月以降10万トン以上のリチウム精鉱を輸出

プロスペクト・リチウム社は、今年4月以降、10万トン以上のリチウム精鉱を輸出しており、直接的及び間接的には2,500以上もの雇用を生み出してきた。リチウム鉱山作業は主にマジョナランド・イースト州ゴロモンジ郡で行われており、3億米ドルの工場が設置され、稼働している。（27日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/prospect-exports-over-100-000-tonnes-of-lithium-concentrate/>

7 アフリカ輸出入銀行、スマートシティ建設計画を進める

アフリカ輸出入銀行と政府は、ジンバブエのスマートシティ建設取組を後押しするため複数の数百万米ドルの事業を進める。アフリカ輸出入銀行は、ハラレ市に、8,000万米ドルのアフリカ貿易センターと地域事務所の建設を目指しており、ハラレ市がアフリカ地域内における貿易ハブとなり、金融サービスに重要な中心地としてハラレ市の活性化にも繋がることを期待される。(28日付、ヘラルド紙)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/afreximbank-chief-meets-president/>

8 ジンバブエのサイバーシティ都市建設計画が、国際的関心を集める

マウント・ハンブデン地域に建設予定のハイテク・サイバーシティ敷地内の物件購入に、国際的関心が集まっている。同事業は、数日以内にも、同事業計画233軒のうち50軒の建設が開始され、2年以内には完了する予定である。(28日付、ヘラルド紙)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-cyber-city-generates-global-interest/>

9 穀物マーケティング理事会 (GMB)、穀物交換プログラムを始動

GMBは、適切なアグロ・エコロジカル地域でのメイズ及び伝統的穀物生産を奨励するため、穀物交換プログラムを開始させた。国内には、5つのアグロ・エコロジカル地域があり、うち3地域はメイズ生産に最適な地域、うち2地域は伝統的作物生産に最適な農業環境である。同プログラムにより、農家らが収穫した穀物を、月に最大5袋(一袋50KG)まで交換できるようになる。(28日付、ヘラルド紙)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/gmb-launches-grain-swap-programme/>

10 ジンバブエ国家統計局 (ZimStat)：輸出量が輸入量を上回る

ZimStatによると、南アを主要輸出先国とし、ジンバブエの輸出量は、7月の6億320万米ドルから7.7%増加し、8月は6億4,980万米ドルとなった。一方、輸入量は4%の増加であった。貿易赤字は、2023年7月は1億7,980万米ドルから8月は1億7,010万米ドルに減少した。(29日付、ヘラルド紙)

2023年1～7月間の貿易赤字が、昨年同時期比で(昨年は10億7,000米ドル)16%上昇し、12億4,000万米ドルとなった。(29日付、インディペンデント紙)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-exports-outrun-imports-zimstat/>

11 9月のインフレ率が上昇

(1) ジンバブエ国家統計局 (ZimStat)によると、9月の年間インフレ率は、8月の年間インフレ率から17.7%上昇した18.4%となった。価格の上昇は、年間インフレ率が23.1%となった食料品及び非アルコール飲料類で大きく見られたが、非食料品類の年間インフレ率は16.3%、月間インフレ率は0.9%であった。(29日付、ヘラルド紙)

報道リンク：<https://zimpapers.pressreader.com/article/281865828101031>

(2) ZimStat が、消費者物価指数 (CPI) の分析にあたり、計算幾何学を用いたことにより、9月の年間インフレ率で落ち着きが見られた。7月に SADC 諸国は、インフレ率の計算にあたり、ブレンド方式における割合を決定する際に算術集計方法ではなく、幾何合計方法を用いるよう勧告していた。9月の年間インフレ率では8月までとは異なる計算方式を用いているため、これまでのインフレ率と比較することが難しい。(29日付、ニュースデイ紙)

報道リンク : <https://www.newsday.co.zw/business/article/200017256/zimstat-rigs-inflation-figures-again#:~:text=%E2%80%9CThe%20inflation%20rate%20for%20the%20month%20of%20September,by%201%2C0%25%20between%20August%202023%20and%20September%202023.%E2%80%9D>

12 ジンバブエドル (ZWL) の価値下落により一人あたりの生活費が上昇

ZWL の価値の下落が価格高騰に繋がり、9月の一人あたりの生活費は95,462 ZWL となり4.8%上昇した。8月の ZWL 価値は、公式レートで18%、並行市場レートで23%減少した。28日時点で、公式市場では5,382 ZWL/米ドル、並行市場では8,000 ZWL/米ドルで取引されている。(29日付、ニュースデイ紙)

報道リンク : <https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200017281/cost-of-living-rises-as-zimdollar-slips>